

**木彫マリア像を  
本市の起爆剤に**

**市長** 目玉となる観光資源だと思う。



隈部 和久 議員

**議員** 完成したマリア観音像を目の当たりにしてそのすばらしさに感動した。制作者の卓越した技術と、想いの込められた世に唯一無二の、見事な木彫作品であり、神々しい表情や気品ある姿は不信心者の私さえ心惹かれる思いがした。議員として俗な表現をすれば、観光や礼拝等で国内・外からの訪問客が、将来激増する目玉となり得ると確信した。市が現在計画中の世界遺産センターは、国道沿いにガイダンス（説明・案内）施設と

物販所を、10数億円かけて建設する予定であるが、果たして永続的な集客が見込めるのか、はまだ疑問である。像が鎮座している建屋の一角を整備し、ガイダンス機能や、原城跡からの出土収蔵品等の展示ブースを一ヶ所に集約したほうが、集客力が高まるかに高まり、建設費も大幅に削減できるのではないか。

**市長** 私も像は本市の目玉になる観光資源だと思うが、遺産センターは国道沿いで、観光客の利便性が高く、遺跡に隣接する立地であり、国・県や関係者等の助言や、2回の発掘調査を行い、実現可能となった経緯から、現在計画中の予定地で進めたい。

**議員** 一旦、計画が動き出したら、是が非でも変更しないという姿勢を改め、他に類を見ない逸品を頂くといい状況変化を受けて、本市の未来に向

**自転車歩行者専用道  
路について**

**議員** 当初の計画より予算が10億円増となった事への、市民への説明と謝罪はないのか。

**市長** 説明については、市民の代表への議員各位に対し報告を行った。謝罪については、当時の積算のもとに35億円で賄えると判断したが、今回の状況に至り、大変申し訳ないという思いである。

**議員** さらに増額の可能性はないのか。

**建設部長** 今回見直した事業で完成するよう努める。



原城の聖マリア観音像



質問の様子を動画で見よう

**市の人口、現在4万2千人が、2050年の28年後には1万9千人と予測。市長の感想と対策は**

**市長** 地域社会が困難になると予想されるので、人口減少対策を長期的視野に立って総合的に進める。



黒岩 英雄 議員

**人口問題について**

**議員** 九州経済調査会の発表によれば、南島原市の人口は、現在の4万2千人が、2050年の28年後は1万9千人になると推測した。市長の今の率直な感想と今後の対応は。

**市長** 人口減少社会における労働力の減少は地域社会の産業に多大な影響を及ぼすとともに、地域の担い手不足や地域内のつながりが希薄になるということから、地域社会の維持も困難になること

が予想されるので、南島原市創生総合戦略を策定し、人口減少対策に総合的に取り組んできたが、成果が出ていない。現在第II期総合計画と一体化し、人口減少対策に資する取組を長期的視野に立って総合的に進めていく。

**電気自動車（EV車）等について**

**議員** 地球温暖化や災害時の電気自動車（EV車）等の使用の趣旨や、現在の市役所の車両台数は。

**市長** 温暖化対策としてEV車の導入は、二酸化炭素を排出しないため、排出抑制に役立つと考えられる。また、防災拠点として、万が一火災被害が発生し停電が長期化した場合に、庁舎や避難所などの蓄電器として活用することが考えられる。

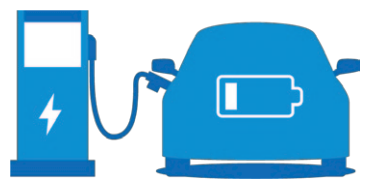
**総務部長** 市役所の車両台数は、普通車26台、軽116台で、計142台となっている。

**環境水道部長** 充電や放電ができる施設などは、経

産省の補助金制度があり、個人、法人、地方公共団体が対象となっている。急速充電器設備については補助金があり、個人宅は対象外。車体購入は、普通自動車最大85万円、軽55万円が上限として補助制度がある。

**議員** EV車等購入にあたり税関係や車検等について伺う。

**総務部長** 新車購入時の環境性能割が非課税、車検時の自動車重量税が減免になったりしている。所有している公用車は軽自動車が多いことから、今後は国の補助制度の動向等を踏まえながら、軽EV車導入についても検討していきたい。



質問の様子を動画で見よう